

発言通告書 (一般質問)

40分

2. 委員報酬等にかかる所得税について

(1) 各所管における報酬の支払い方法について

7(2)

2分しかた、

総務課では、情報公開個人情報保護審査会委員には、市条例で定めた報酬の他に、市議会に隠れて、相談料名目の報酬を支払ってきました。

①

この税額がデタラメの脱税であることは、私は、2月27日桑名税務署の東山総務課長を訪ねて確認済みです。

議会が認めていない金銭を払う方も払う方ですが、受け取る方も受け取る方で悪い。

市民の情報公開の異議を審議する付属機関であることから、やらせの御用学者は市民の不信をかっています。

②

弁護士は税理士資格を兼ねていて十分な税の知識があることから、所得税源泉徴収のおまけを受け、根拠が無い相談料をヤミで受け取った弁護士らの委員解任を求めます。

③

④

(2) 源泉徴収した所得税は適切に納付されているか

26年5月1日桑名市は、訪れた国税調査官の行政指導として、全庁と出先機関の徴税漏れ調査と報告を命じられました。

桑名市は、弱い人には、食べるものも食べられない境遇に追い込み、苛烈過酷(かれつかこく)にむしり取る鬼の差し押さえをするくせに、有力者の委員にはおまけするんです。

⑤

過去の税金本税が払えても延滞税が払えず、痛む足を引かずと首にされるからと、具合が悪いのを隠して、税金を払うために夜も掃除婦として働いている人を知っています。

これから質疑することは、すべて公務員ですので、よくわかるよう前職・現

職名個人名で特定します。市民のみなさんが知りたいことですので、発言を邪魔しないようお願いします。

⑥

桑名市が、支払う特別職委員や業者の報酬の所得税源泉徴収については、人事課が指導し、各所管課が徴税したものを取りまとめて人事課が集計しています。

徴税金については、会計管理室が歳入歳出外現金として預かり、給与や報酬等の支払日の翌月10日までに支出命令によって税務署に支払うものと理解しています。

ところが、桑名市人事課では、毎年12月に人事課長名で特別職委員等の報酬に対する所得税源泉徴収を18年までは6%に、19年からは3%におまけして徴税せよと発令しているのです。

②

私は、2月27日桑名税務署の東山総務課長を訪ねて、この税額がデタラメの脱税であることを確認しました。

⑦

桑名市のパソコンでのネットワークシステムは、公務に使った通知の公文書を1か月で自動的に消す運用をしており、この脱税指示文書もほとんどの所管課で保存されていません。

⑧

契約管理課のみが、18年以降のこの人事課通知文書を毎年紙で保存しており、ようやく入手しました。

桑名市は、全庁で特別職委員の報酬に対して低い税率でおまけ課税してきました。市が主導した明らかな脱税犯罪です。

⑨

委員は、弁護士、医師、大学教授、はては税理士という有力者がほとんどです。

また、桑名市職員が病院準備事務局に出向しており、桑名市の巨額の補助金・分担金等で成り立つ独立行政法人桑名市医療センターも、桑名市に倣う同様の会計規則であり、桑名市監査委員は、平成25年度定期監査等結果報告書で、納税に問題はあると指摘しておらず黙認しています。

徴税さえしてあれば、期末に歳計外現金が不明金として残ることになり、たとえ納期遅れでも、税務署への納税を絶対忘れない仕組みです。

⑩

桑名市の補助金等を受けながら、桑名市総合医療センターは正しい源泉徴収と納税をしていません。

⑪

国税局指定銀行の領収印が無いので、桑名市職員の新病院準備室久保康司・

⑫

前主幹らが事務局を務めた桑名市総合医療センター新病院基本設計プロポーザル審査委員会の委員報酬の所得税はまったく納税されていません。

所得税を払っていないものは、裏金の疑いさえあります。

13

納税しない報酬は、有力者に業者選定の談合や医師の派遣や引き抜きをお願いした賄賂性があると疑われても仕方がありません。

14

池田勝敏前会計監査委員は、税理士であり、税の専門家としてこれらを指摘しなかった。

全庁と出先で、所得税金額が軽すぎることはわかっており、兼務した財産管理課の公有財産台帳整備事業プロポーザル審査委員 源泉徴収票で明瞭であり報酬額2万100円に対し、たったの3%の603円と低く済まされています。

15

正しくは、6366円であり、(給与所得源泉徴収月額表乙欄)が課税すべき所得税です。

牛島 10月

給分 石田発言

財産管理課は、唯一 委託業者への徴税漏れを報告しながら、池田勝敏委員らへのおまけ脱税を隠して、税務署には嘘の報告をした。

16

これは、桑名税務署の東山総務課長を訪ねて確認済みです。

17

そればかりか、監査委員として月給をもらう立場で、グリーンのジャガーで登庁する姿を市民はたびたび見えています。

田町バス停から国道市役所バス停まで三交バス代往復320円を請求し受給しましたが、三交バスに確認したところ、逆方向のうえ桑名駅で乗り換えるから2度となり、そのコースも料金もありえないと答えました。

18

バスに乗ってもいないのではと疑われて当然です。

これらの不当に税を減免する所得税源泉徴収の操作は、公務員に対する利益供与にあたるから、贈賄さえ疑われます。

19

総務課の集計でさえ、地方自治法で義務付けた市議会条例での設置がしていない違法な委員会、審議会が、桑名市には多数あります。

桑名市議会を馬鹿にするにも程があります。

民意を偽装するヤミ付属機関を、桑名市議会は認めておらず、その存在も脱税も違法であるから、直ちに廃止し、報酬やバス代支出をやめるよう求めま

中野

す。

税務署を騙した 桑名市全庁と桑名市の支出が及ぶ病院等の委員報酬額と所得税源泉徴収金額の集計を正すよう人事課に求めましたが、人事課長はのりくらしと未だに協力しません。

20

また、市議会基本条例第14条に基づく資料要求を行いました。議会事務局はこれを妨害したので、悪質な脱税隠しです。

21

本当は、会計管理者が、システム上の資金管理をリアルタイムで監視しています。

歳計外現金の出入で所得税の源泉徴収金額を各課別にひもつけ集計することはたやすいのです。

※
→ 10/1の名簿(車) 登記簿にない

△29万

人事課長の嘘は、市議会議員を馬鹿にするにも程があります。

半額報酬の
不納税

26年には、全国で自治体の徴税漏れが議会報告のうへ、報道されました。

浜松市では、徴収漏れの総額は4850万円で、納付遅れにより市に課せられる不納付加算税と延滞税は420万円と確定しました。

計5270万円を国に納付するため、本年度一般会計補正予算案に経費を追加計上し、浜松市議会9月定例会に報告したのです。

四日市市では、34所管課において、総額5,094,981円の徴税漏れと延滞税183,100円と不納付加算税213,000円が議会報告され、謝罪のうへ補正予算が計上されました。

いずれも巨額です。

桑名市は、徴税漏れは市議会報告は無し。

その裏で、南川前税務課長らが桑名税務署を訪ね、たった2100円の不納付加算税だけにおまけしてもらったのです、

桑名市は、文書で脱税指示をしているから悪質な犯意があります。

私は、本年2月26日桑名税務署の東山総務課長を訪ね、桑名市のこれら脱税を確認しました。

また、廃棄物対策課の613人ものリサイクル推進員への報酬が、半年払い

西月
29万

にされていることについて、桑名税務署の総務課長に、給与として所得税源泉徴収の課税対象であると確認済みです。

廃棄物対策課は1円も徴税していないので、財産管理課が委託した不動産鑑定士が報酬を申告しなかった件では、源泉徴収しなかった所得税を後日に集金した。

これに倣い、廃棄物対策課は、613人から正しい所得税額を集金しなければならないのです。

そして、予定される延滞税や不納付加算税、重加算税は、罰金をふたたび桑名市民の血税でごまかして払うことがないよう求めます。

国税局チェック表で、嘘の納税報告をした平野公一前廃棄物対策課長を懲戒免職とし、予定される脱税の罰金を弁済させるよう求めます。

また、専決規定は、国税反則金の支出を認めていません。

予算は議会承認が必要であり、公課費を使うなど論外で、そもそも罰金である国税反則金の支出は認められないのです。

地方自治法では、市長は監査請求を行い、損害額を確定して職員に賠償させるのが義務です。

地方自治法第243条の2に

＞ 普通地方公共団体の長は、第一項の職員が同項に規定する行為によつて当該普通地方公共団体に損害を与えたと認めるときは、監査委員に対し、その事実があるかどうかを監査し、賠償責任の有無及び賠償額を決定することを求め、その決定に基づき、期限を定めて賠償を命じなければならない。とあります。

「100万円以下なので専決規定によって課長決裁で良い。」とする中村前財政課長の居直りは詭弁(きべん)です。

水谷ジョンナム前総務部長の決裁印が押されているからです。

桑名市議会報告なしで、国税反則金2100円の支払いを公課費で支払う違法な許可をした中村前財政課長(現市長公室長)の懲戒免職を求めます。

正しい予算流用手続きは、市長の裁可のうえ流用通知書を添えて会計管理者に送ると規定されています。

流用通知書無しで、国税反則金の支出を認めた会計管理者の責任は、市に財産上の損害を与える背任です。

国税反則金ばかりか、高木会計管理者は「流用通知書を一一見ていない。元

の課で決裁しているからいいんだ。」と認めています。

高木会計管理者の免職を求めます。

歴代の会計管理者に、違法設置の委員会等への支出や予定される脱税の罰金を弁済させるよう求めます。

脱税を指示した18年以降の人事課の課長はじめすべての関係職員の懲戒処分を求めます。

特に、高木前人事課長と位田前人事係長は、25年12月に脱税の指示文書を例年どおり発令しながら、全国規模の自治体への税務調査が始まり、桑名市への税務調査を予見し、異動直前の26年3月12日に、正しい税額表を突然全庁に発令しました。

職員が参照するパソコンネットワークシステム上のファイルキャビネットを正しい税額表にすり替えて、隠蔽と自己保身を図ったうえで異動したので悪質と言えます。

この2名には、懲戒免職を求めます。

26年5月の税務調査を受けながら、桑名税務署に嘘の修正申告を二度も作成し、脱税を繰り返した堀田前人事課長の懲戒免職を求めます。

決裁した水谷ジョンナム前総務部長（現副市長）には懲戒のうえ、予定される重加算税などの弁済と副市長解任を求めます。

南川現教育部長は、税務課長の地位にあった26年5月に、会議などで面識がある桑名税務署長に対し、情実で頼み込んで、徴税漏れを小さくして、人事課長に修正申告なさしめ、たったの2100円の反則金で済ませたのです。、他の市などと比べても異様に金額が少ないことが証明しています。

有力者には脱税させておいて、悪い職員を首にできないでは、桑名市民の皆さまから徴税する資格がありません。

桑名市は、血税で、桑名市民の皆さまの血の一滴一滴からできています。

桑名市長に全く足りないのは、職員への厳しさです。

南川前税務課長のインチキは、万死に値する裏切り行為です。

多数かつ巨額の脱税がありながら、5月に桑名税務署を訪れて、嘘の報告を

した南川前税務課長の懲戒免職を求めます。

税務署に同行した岩崎元総務課長には、懲戒のうえ退職金の返納を求めます。

289

3. 力尾地区における土石流対策について

(1) 仮復旧だけでは不十分ではないか

落石を片付けるだけでは土石流の解決にはならない。

巨額の工事費が見込まれるが、組合の欠陥工事であるから原因者に負担を求めるのは当然で、そうしない市長は、力尾土地区画整理事業組合 蛭川三蔵組合長に借りでもあるのでしょうか。

土地を購入したものの、誘致した桑名市に騙されたと通告したヨドバシカメラは未だに着工できず、裁判の真っ最中です。

そもそも一号緑地は、桑名市には不要な土地だから、移管を受けてはならないものです。

組合に瑕疵を理由として返還すれば管理責任を負わずに済むが、なぜしないのか問う。

2) 力尾1号緑地の設計は適切か

造成されたばかりで起こるはずがない土砂崩れや土石流について、私が調べたところ、三重県と桑名市が予算執行した5500万円もの商工課の貸付金で行った環境影響調査書の成果品原本が廃棄されていました。

この中には、工業団地造成の土木工事の設計図書も含まれています。

市民の方の情報公開請求では、商工課は副本を示して騙したのです。

再度の情報公開請求を受けた商工課では、成果品の土木技師による設計図書の完成検査が一切やってない事実を遂に認めました。

訂正
おぼろげ?

pp9

さらに商工課が廃棄の事実を認めました。

総務課には、この公文書廃棄記録がありません。

造成工事の設計図書には、よそから買ってくる土（客土）はたったの1立方メートルでよいとする驚くべき設計でした。

これでは土砂崩れが起きて当たり前です。

むべなるかな市長の起工式直後のテックベース大崩落は、インチキ工事で山を荒らしたことで、多度山の怒りを招いたのです。

商工課に土木技師はいないので、都市整備部で検査する義務がありました。

組合の要らん土地を押し付けられた景観係の出口前係長は、土木技師なのです。

土木設計図書の検査さえしなかった その結果、危険な土石流を惹き起こした。

緑地面積が不足するからコンクリートで固めるなどができず、未だに抜本対策工事ができないというのが真実です。

また、市長は、議会に対し、工業用地での緑地面積の必要規制を緩和して、減らす方針を出しています。

緑地は市民の憩いであるばかりか避難場所を減らすことは、全く防災と矛盾します。

市民の命と企業の都合とどちらが大事か市長に問うものです。

防災の情報は、今後迅速な提供に努めると12月市議会で伊藤恒之統括監は謝罪し、約束しましたが守らず、議員である私にまたもや情報公開請求させた久保康司都市整備部長は、伊藤恒之統括監ゆずりの二枚舌です。

危機管理担当の伊藤恒之統括監は、何一つ約束を守らずに、定年で逃げます。

12月市議会で私の抗議の結果、1号緑地の土石流を台風21号の被災であると追加して集計し直し、全議員に配布しました。

ところが、これも嘘です。

国土地理院の航空写真で、台風21号被災前の晴天でも土石流が起きています。

伊藤恒之統括監は、原因を21号の被災だと桑名市議会議員全員を騙したのです。

~~出口土木課長は、都市経済委員会で、「人があまり通らない道だからいい。」~~

と居直り発言をしました。

市民の安全はどうしても良いという本音が表れています。

常時岩が落ちてくる場所は危なくて通れません。

仮復旧だけで、そこにある泥を土嚢袋に入れて積んだだけの危険地帯です。

桑名市道 桑名北部東員線の廃止を求めます。

私は、出口土木課長と対決し、「人があまり通らない道だから廃止していい。」と返しておきます。

デタラメ防災担当の伊藤恒之統括官は、定年で逃げますが、不正が露見すれば、受け取った退職金は3年間は返還請求する規則ですが、それだけでは足りない。

~~任命した市長の責任を問います。~~

↓

(3) 保安林の面積は維持されるのか

発心面談

~~もし許認可に不正があれば、久保康司都市整備部長を懲戒免職とし、市長の引責辞任を求めますが、その覚悟で答弁を求めます。~~

